

<青春かながわ校歌祭>

10月13日（土）に神奈川県立青少年センターホールにおいて、「第2回青春かながわ校歌祭」が開催されました。松陵会（本校の同窓会）会員30名が、「平高」と金文字プリントされた白鉢巻を締め、平塚ブルーのお揃いのアロハシャツを着て出場し、声高らかに、校歌と生徒歌を熱唱しました。

82歳になられる、高橋勝頼松陵会名誉会長をはじめとして、はるか昔高校生だった先輩方が、青春時代を懐かしみ、目頭を熱くして歌う姿に、人生は詩であり、詩は感動であり、人生の感動を共有する喜びがあふれていました。

かながわ校歌振興会会長が「校歌には、制定時の教育指導者の理念や情熱、郷土の自然や歴史が謳いこまれており、その時代、時代の生徒を鼓舞し、希望を与えてきました。昨年、出演した卒業生それぞれが若き日の感動を甦らせて胸を熱くしたことは勿論ですが、在校生と声を和することができたことも、大きな成果でありました。」とご挨拶されました。

林正義松陵会会長も、会員一同の熱唱、熱演振りに感動し、想像以上の上出来でしたので、ぜひ来年は、在校生とともに出場し、この感激を一緒に味わいたいと、舞台を降りるや否や、開口一番に言うておられました。

校歌祭に行こう！老いても（失礼！）カッコいい先輩方に会えます。未来の自分の姿をイメージできるかも知れません。来年はぜひ、有志参加をしてみたいかがでしょうか。校歌を歌い、愛校精神を発揚し、よき学び舎で、40年先、50年先まで続く友情をはぐくみましょう。

（投稿）平塚工科高校 副校長 二ノ宮 哲夫